80号 目次

巻頭言……会長 木村 高久 (1)
令和二年度定期総会・新春発表会・新年祝賀会開催……広報 高尾 隆 (2)

特別寄稿

疫病の流行―律令国家の天然痘への対処法……松尾 光 (3)

会員研究

大伯皇女～ひたすらに神に仕えて～……遠田千代吉 (6)
慶長遣欧使節団、伊達正宗の夢と支倉常長の悲劇……長谷川憲司 (10)
長篠（設楽ヶ原）合戦の真相に迫る……真野 信治 (14)
中世以降の征夷大将軍は有名無実……加藤 導男 (19)
藤原鎌足と本墓……石原 祐之 (22)
歴シル鎌倉室町４００晴れて鎌倉８０……高尾 隆 (24)
「弥生時代は殺し合いの時代」は事実か……木村 高久 (26)

エッセイ

「蓮の糸」と「蜘蛛の糸」……武田 収功 (31)
古歌を訪ねて〔その十〕「君が代」……丹下 重明 (35)
目白の杜から〔その Ⅲ〕愛子内親王と閑院宮家……忌部 守 (38)
官邸のタケノコ・筍９話……近藤 政次 (41)
江戸こぼれ話（宗教戦争）……瀬谷俊二郎 (43)
一月三舟（いちげつさんしゅう）を思う……鈴木美恵子 (46)
三介殿（信雄）のなさることよ（宇陀雑感）……槙 良生 (49)

例会発表の概要（令和元年十月～二年三月）……編・記 (51)

エッセイ

蘇（よみがえ）った翁草原本……高橋 正一 (53)
みうら・ブラ・ぶら……雨宮 美千代 (54)
横浜「根岸・掘割川」の物語……森 彩子 (57)
どこのだれ？……真野 信治 (60)
色葉匂へど【Ⅲ】歴史に想う事……宮下 元 (63)

会員のひろば

俳壇「歴研よこはま」……竹村 清繁・内山 昇・藤盛 詔子・高島 治・谷川 操一・竹内 章二 (66)
歌壇「歴研よこはま」……高野 賢彦・市川 康夫・山本 修司 (67)
詩壇「歴研よこはま」……丹下 重明・高野 賢彦 (68)
横歴秋期歴史散歩……広報 高尾 隆 (69)
「海洋日本の歴史の変遷と共に歩んだ港町『浦賀』」
会員活動報告……編・記 (71)
受贈図書……木村 高久 (71)
会報原稿募集……編・記 (71)
編集後記……編・記 (72)

（表紙題字・会長 木村高久氏）